

事務事業チェックシート

事務事業No 733 事業名 授業力向上サポート事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	1	確かな学力を育む教育の推進
取組方針	1	教育課程の充実と学力の向上

事業種別	継続	
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	教育研究所	市川 圭造 (435-1192)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		教育総務費	
	目		教育研究所費	
	大事項		教育研究所事業	
事項		授業力向上サポート事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校における学び合いの授業づくりをすすめる。 ・客員指導主事を活用し、学校の校内研修の活性化と充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の校内授業研修を活性化させ、教員の授業改善、生徒の学力向上を目指す。 ・Q Uテストにより生徒の学級満足度を客観的に数値化し、学級経営づくりに生かす。 ・退職校長等で組織する客員指導主事による学校の校内研修の活性化・充実を図る。 ・教員ネットワーク“土曜塾”：土曜日に、教育研究所を開放して市内教員の研修・研究の場を提供するとともに、教育課題の様々な相談に応じ、教育活動全般の指導、支援を行う。 				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問研修：研修指導員8名による対象教員への研修の実施。採用後3年目の教員43人に各5回/年、採用後4年目の教員35人に各2回/年計回 ・土曜塾：1回/年 ・授業力向上集合研修：1回/年 ・教員のより一層の研究活動を促進するため土曜塾PLUS”として、教育研究所の図書閲覧室を平日開放。 ・客員指導主事の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問研修：研修指導員11名による対象教員への研修の実施。採用後3年目の教員47人に各5回/年、採用後4年目の教員42人に各2～3回/年 ・土曜塾：1回/年 ・授業力向上集合研修：1回/年 ・教員のより一層の研究活動を促進するため土曜塾PLUS”として、教育研究所の図書閲覧室を平日開放。 ・客員指導主事の活用 ・研究校を9校指定し、中学 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問研修：研修指導員による対象教員への研修の実施予定。採用後3年目の教員に各5回/年、採用後4年目の教員に各2～3回/年 ・土曜塾：1回/年 ・授業力向上集合研修：1回/年 ・教員のより一層の研究活動を促進するため土曜塾PLUS”として、教育研究所の図書閲覧室を平日開放。 ・客員指導主事の活用 ・研究校を11校指定し、中学校における「学び合いの授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究校を指定し、中学校における「学び合いの授業づくり」を推進する。 ・Q Uテストの活用 ・土曜塾 ・授業力向上集合研修：1回/年予定 ・客員指導主事に校内研修の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究校を指定し、中学校における「学び合いの授業づくり」を推進する。 ・Q Uテストの活用 ・土曜塾 ・授業力向上集合研修：1回/年予定 ・客員指導主事に校内研修の支援

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,994	2,325	3,646	4,037	3,646	4,342	1,481		1,481	
伸び率 (%)	-	-	82.8%	73.6%	0.0%	7.6%	▲59.4%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	4,316	5,166	4,398	5,340	5,340	4,667	4,667	4,667	0
	正規職員以外	0	786	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,316	5,952	4,398	5,340	5,340	4,667	4,667	4,667	0
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	1,994	2,325	3,646	4,037	3,646	4,342	1,481		1,481	
所要人数 (人)	正規職員	0.58	0.58	0.58	0.70	0.70	0.59	0.59	0.59	0.59
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0
主な予算内訳	報償金900 (千円)、消耗品費572 (千円)、会場その他借上料9 (千円)									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標	客員指導主事の活動数	目標値	90	90	100	100	100
		実績値	87	99	112		
		達成度 (%)	96.7%	110.0%	112.0%		
活動指標	学び合いの授業研究会回数	目標値		6	10	36	54
		実績値		8	25		
		達成度 (%)		133.3%	250.0%		
成果指標	学び合いの授業研究会参加者数	目標値		100	150	200	200
		実績値		154	143		
		達成度 (%)		154.0%	95.3%		
成果指標	授業力向上研修受講者アンケート結果 (「とても価値がある研修であった」の回答)	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	79	81	74		
		達成度 (%)	87.8%	90.0%	82.2%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>学び合いの授業づくりについては、中学校での授業改善に着手し3年目を迎え、本年度から、全中学校18校で取り組む。学校によって進み具合に差はみられるが、学校長と連携しながら取り組んでいる。</p>
見直し・改善内容	<p>各校及び各教員の授業改善に向かう意欲の向上や授業研究の深まりを一層すすめるために学校間での情報交換、授業参観等を積極的に進める。</p>